

今年度から新システムが導入され、学生は自分の出欠情報をライブ・キャンパス上で確認できるようになりました。文系大学で学生生活を過ごした親御さんは、ご自身の学生時代を振り返り、時代の変化を感じていることと思います。出席への意識が高まっている昨今、学生にとって授業の意義は、いちだんと大きくなっています。

授業に出席することとは学生の権利です。ぜひとも、学ぶことの純粋な喜びに触れてほしいと思います。その他にも、社会で役立つスキルを身につける達成感、友人に会う社交の楽しみ、学生の自分を果たしている満足感、そして社会のなかでの自分の所属を確認する安心感。授業の出席によって得ることはたくさんあるでしょう。

さて、学生相談室でも、授業の出席はよく話題に上りますが、その多くは「出席できない」話です。かつて何も考えずにスムーズにできていた授業への出席が、自然なペースで回らずに、一回一回

学生相談室 だより 101

カウンセラー・教授 改田明子

乗り越えなければならぬハードルのように感じる話。アルバイトは難なくこなすものの、授業と出席することに意味が感じられない話。出席できなさの体験は千差万別ですが、授業のことを強く意識して、出席できないことに苦しんでしまいます。「授業に出

席しない」という経験は、簡単に「さぼり」の一言ですまされるほど単純なことではありません。本人は、自分にいらだちながらも、どうしようもない行き詰りのなかで苦しんでいるのでは、と想像します。授業に出席するだけが大学生活ではない、と多くの人がおおらかに受け止めていた時代なら、このつらさもちよつと違ったかもしれません。そのような人生の危機にあたり、周囲ができることは本当に限られています。せめて、真剣に生きようとしているその努力の密やかな目撃証人かつ伴走者になりたい、そんな気持ちで試行錯誤を続けています。